

ガイドと歩く

あわら歴史ものがたり

～知られざる未知の世界へ～

実はたくさんの歴史が詰まった、福井県あわら市。

ガイドと歩くことで、歴史ロマンや「へえ」なるほど」が たくさん見つかることでしょう。

まだ見ぬ“あわら”を体験してみませんか。

福井県あわら市・石切峠



古戦場・森の奥

発行：(一社)あわら市観光協会

910-4103 福井県あわら市二面33-1-5 えちぜん鉄道あわら湯のまち駅舎内
0776-78-6767(月～金 8:30～17:15)

第2版 2023.4



あわら温泉街

Awara Onsen town

～偉人も愛した癒しの湯～



芦湯(あしゆ)
朝7時～夜11時(年中無休・無料)*タオル自販機あり

セントピアあわら
～銭湯気分温泉へ～

あったか～い

温泉街の中心にある日帰り入浴施設。温泉を楽しむ間に温泉たまごを作れる場所もあり、市内外から多くの人々が訪れています。外にある手湯では湧き出る源泉の温かさにホッとひといき。

あわら市温泉4-305



お風呂上がりにはふるふる出来立て湯玉を！



田中温泉 薬師神社

祭神は少彦名命。日本神話の神で、小柄で敏捷かつ忍耐力に富み、医薬の神とされています。

あわら市温泉3丁目511



舟津温泉 薬師堂

病を治す功德のある薬師瑠璃光如来、患部と同じところをなでると治ると言われる費頭盧尊者像などをお祀りしています。

あわら市温泉5丁目511



二面温泉 薬師堂

本尊に薬師如来をお祀りしています。度重なる大火にもめげず、昭和46年には本殿を造営し、地藏菩薩の尊像を建立。

あわら市二面41-4

湯治場としての
あわら温泉

温泉が湧き出た翌年、温泉宿が開業し、湯治客が訪れるようになります。温泉街となった3つの区では社を建て、医薬を司る仏を祀り、信仰と融和の中心となりました。三薬師にお参りすると、無病息災、延命長寿、除病安楽などのご利益があるとされています。

初めて温泉が湧出した地。あわら温泉湯元の井戸がある。

温泉発祥地公園
あわら市堰江十栄

歌人
与謝野晶子 1878-1942

「越しのくに あわらの湯場の雪にさす いみじく清き あけぼのの色」。明治から昭和にかけて活躍した歌人・与謝野晶子が夫婦であわら温泉に宿泊した際に歌った句です。冬のあわらの景色を美しく表現しています。



あわら市温泉1-301
(福井銀行戸原支店前)

医師・医学教授
藤野厳九郎 1874-1945

あわら市で医者の子三男として生まれ、医学部を卒業後、仙台医学専門学校(現東北大学)の講師を経て、教授に就任。その頃、中国からの留学生・魯迅と出会い、のちに日本と中国の架け橋となります。旧宅を移築した記念館には、医療器具や手紙など多くの遺品を展示。



あわら市温泉1-203

福井初の衆議院議員
杉田定一(鶏山) 1851-1929

福井県初の衆議院議員 杉田定一は、当時の三国・芦原・金津の3町発展のため、私財を投げ打って国鉄三国線の敷設に尽力。明治44年、鉄道開通により、あわら温泉街は飛躍的な発展を遂げました。「鶏山庵」は地元有志により建てられ、昭和31年の大火も免れた貴重な建築物です。



あわら市温泉4-2(あわらグランドホテル裏)

軌跡を残した偉人

この町にゆかりのある偉人をご紹介。

あわら温泉街

芦が茂る湿地だったこの町に、温泉が湧き出たのは明治16年のこと。以来、関西の奥座敷として著名人にも愛され、湯治や観光で賑わう町となりました。20軒以上ある旅館それぞれが自家源泉を持っているため、泉質や効能は少しずつ異なります。それもあわら温泉の魅力のひとつです。

あわら市認定ガイド
淳子姉さん

芦湯を出発してランチやスイーツなどを堪能しながら温泉街を歩く約2時間のツアーがおすすめです。面白く分かりやすくご案内します！

一般社団法人あわら市観光協会
TEL.0776-78-6767



松乃露
サクッと軽い食感と上品な甘さが特徴のメレンゲ菓子で昭和天皇にも好まれた。
あわら市温泉4-916 0776-77-2035

どんりん
フルーツカスタードと粒あん、和と洋が融合したスイーツ。
あわら市温泉3-601 0776-77-2154

芦のゆ玉
温泉の湯気をイメージしたふわふわの饅頭。中には粒あんがたっぷり。
あわら市二面48-7-1 0776-77-2226

水ようかん
あっさりとしたコクのある美味しさ。後を引く、冬季限定の水ようかん。
あわら市温泉5-1403 0776-77-2626

昔ながらの
温泉甘味

川を利用した暮らし

宿場町と北陸街道



陸路と水路が交差する金津地区は、人とモノが行き交う交通の要衝。市姫橋のたもとでは、沖仲仕が荷物を積み降ろし、宿場は旅籠屋、問屋、妓楼が軒を連ね、日替わりで市が立つほど賑わっていました。あわら市郷土歴史資料館では、当時の様子をジオラマで見ることができます。

あわら市郷土歴史資料館 あわら市春宮2-14-1

金津本陣IKOSSA(イコッサ)2階 TEL.0776-73-1065



大鳥神社の大銀杏

大鳥神社の大銀杏は樹齢1000年とも言われており、秋になると境内中を黄色い落ち葉が埋め尽くします。境内では縄文時代後期の大きな貝塚が発見されており、当時はこのあたりまで海岸が迫っていたようです。

あわら市花乃杜1-21-2

歴史と伝統を受け継ぐ

越前鬼瓦



江戸中期より約250年の歴史を持つ越前瓦。その技術を用い、狂言「金津地蔵」のワンシーンを切り取ったモニュメントが駅やIKOSSAなど町なかに点在して飾られています。制作は繊細で迫力ある造形美を得意とする福井県唯一の鬼師・西郡正義さん。

瓦せんべい

越前瓦をモチーフにしたほかに甘く香ばしい昔ながらのせんべい。

香清坪田尚華堂
あわら市姫2-29-8
TEL.0776-73-0154



えちぜん鉄道あわら湯のまち駅前「芦湯」には、金津に伝わる民話「嫁威し伝説」をもとにしたモニュメントが飾られています。

金津神社と金津まつり



<本陣飾り物>



お椀や箸などの日用品を使って作られる飾り物。390年以上の伝統がある。



灯籠が立ち並ぶ参道は緑豊かな木々に包まれ、春になると桜で華やぐ金津神社。第26代継体天皇が勧請し、創建したとも伝えられています。例祭は毎年7月に行われ、勇壮な山車3基が18地区の本陣を練り歩き、本陣前では子ども踊りと曲太鼓が披露されます。

金津神社 あわら市春宮2-14-64 TEL.0776-73-2233

雨夜塚

松尾芭蕉が「奥の細道」俳句行脚の道中、ここで雨宿りをしたそう。急な雨に同志が集まって旅情を慰めましたが、間もなく晴れ間が顔を出し、次の地へ向かったと言われています。

金谷山 総持寺
あわら市花乃杜1-22-2
TEL. 0776-73-8778



穢れを払う神様

河の瀬に御座す女神を祀る河瀬神社。宿場町時代には妓楼の女性たちが病にかからないように参ったと言われています。

河瀬神社
あわら市春宮2-13



金津

KANAZU

～川とともに栄えた宿場町～

江戸時代には金津宿と呼ばれ、北陸街道の宿場町として栄えました。細呂木地区でとれる鉄を竹田川を利用して運んだことから、鉄を積み出す川港という意味で「金津」と名付けられたと言われています。金津小学校の校歌には「栄える町のにぎわいを流れにうつす竹田川」と歌詞に登場し、川とともに町の繁栄があったことがうかがえます。現在はカヌーなどで川を活用し、にぎわいを創出。北陸新幹線の停車駅として地元住民の期待も高まっているようです。



金津に奉行所が置かれた1613年から約400年後の2024年に新幹線の停車駅となる予定で、今も昔も交通の要衝。そんな町にロマンを感じます！楽しくユーモアたっぷりに町をご案内します♪
金津まちなか創成会 090-4689-3212



吉崎古道（切通し）

明治20年に人力で拓かれた鴨谷山の切通し。背丈より何倍も高い山壁は草木が茂り、苔むして、静かな時の流れを感じます。この道のおかげで、細呂木〜吉崎間が歩きやすくなりました。



千束一里塚

東京の日本橋を起点に約4kmごとに設置された街道の目印。旅人が木陰で休息をとったという大きな榎は、約400年前から今なお立派に根を下ろし、枝を広げています。

細呂木 Hosorogi

～旧北陸道をあるく～

八幡神社 嫁おとし伝説の谷

毎日、吉崎参りを続ける嫁を良く思わなかった姑が、鬼の面をつけてこの谷で待ち伏せし、嫁を脅した。すると、鬼の面が外れなくなったしまったという民話の舞台。



肉付きの面



吉崎御坊周辺のお寺では、実際に使われたという鬼の面を見ることができます。

聖地スポット！ のこぎり坂

親鸞上人や蓮如上人、加賀藩の大名行列も往来した旧北陸道（のこぎり坂）と、吉崎参りの難所を切り拓いた切通しの岐路は、当時の面影を残す貴重な古道として多くのファンが訪れています。

あわら市細呂木58字12



れんじゅ山照厳寺 聯珠山照厳寺



「柿原の郷千戸」と呼ばれるほど繁栄していた柿原に注目し、1617年に福井市幾久から寺を移しました。真宗大谷派の大寺で、境内には親鸞の像が地域の人々を見守っています。

あわら市清王36-1-1 TEL.0776-73-0260

細呂木関所跡

「入り鉄砲と出女」という言葉が残るほど、江戸時代は鉄砲の持ち込みと関所の外に出る女性を厳しく取り締まり、治安の維持に努めていました。

あわら市細呂木26-6-1



たたら製鉄遺跡



880〜1010年頃に使用していたとされる北陸最古の箱形炉、縦型炉2基が発掘されています。

あわら市指中59字64-2
市営駐車場奥の階段からお進み下さい。

善政をしいた大名・多賀谷左近の墓と菩提寺

初代福井藩主 結城秀康の重臣として越前と加賀の国境の鎮めを任ぜられた 多賀谷左近三経の御城下として栄えた細呂木。わずか7年の治世でしたが、政治、文化、交通、軍事の中心となりました。多賀谷氏の眠る地には、仏教の五大思想を表す「地水火風空」の文字が刻まれた約4mの墓と五輪塔が建てられ、奉賛会の人々により守られています。

あわら市柿原36-8



般若山大蓮院専教寺

多賀谷氏の菩提寺は専教寺で、三経の弟・多賀谷光之助が7代目の住職を務めていました。

あわら市柿原41-14
TEL.0776-73-0424

レンタサイクルで 細呂木めぐり



のんびり史跡巡りの拠点

地元住民の憩いと観光案内を目的に古い建物をリノベーションして、細呂木ふれあいセンター「らくーざ」を創設。1階の「えきまえカフェ」はコーヒーが楽しめる場所として住民人気のスポットです。ここが細呂木周辺を巡るスタート地点。レンタサイクルで気軽にGo Go!

細呂木地区創成会の皆さん



細呂木の歴史探訪や史跡、自然に感謝したくなる絶景を観光ガイドが分かりやすくご案内します!

細呂木ふれあいセンター
えきまえカフェ「らくーざ」
あわら市青ノ木40-40
TEL.0776-97-5130



森の中をトレッキング

目的地までの道のりも楽しめるスポットをご紹介します。絶景の雨乞堂、タイムスリップしたかのような石切場跡、現代アートに浸る森など、歩きやすいシューズを履いて、さあ、出かけましょう！

金津創作の森

美術館を中心に周囲に広がる自然豊かな森。現代芸術の屋外作品も展示しています。森の奥にはさまざまなアーティストが暮らしながら創作活動をしています。

あわら市宮谷57-2-19
TEL.0776-73-7800



宮谷石切場跡

深い緑色に苔むした、まるで石造りの神殿のような神秘的なこの場所は、明治20年頃から石の切り出しが始まり、セメントが普及するまで、竹田川の水運を利用して出荷されていました。

あわら市宮谷
*私有地のため郡呂木創成会へ要予約
(0776-97-5130)
*足元が悪いので、歩きやすい靴、軍手、懐中電灯をご持参ください。



お申し込みはこちら

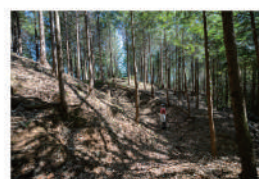


あまごいどう 雨乞堂(雨請堂)

石段を129段登り、尾根伝いを歩くこと約400m。日本海や北潟湖を望む小高い山の山頂に恵みの雨の神さまを祀った雨乞堂があります。2023年3月、あわら市指定文化財に指定されました。

あわら市滝地区雨請山中

雨乞堂に続く尾根道



火縄銃体験ツアー

竹が茂る森の中を散策しながら城址を巡る「戦国ガイドツアー」では、火縄銃(エアガン)の射撃体験もできます。



お申し込みはこちら

朝倉氏の一向一揆の最前線

戦国時代、越前国主であった朝倉氏にとって最大の敵は加賀国の一向一揆。旧北陸道や牛ノ谷峠から越前へ攻め込んでくる彼らを迎え撃つ、国境警備を担う重要な防衛拠点としての、細呂木地区にある神宮寺でした。



神宮寺城址の大きさは東西約270m、南北約250mで加賀丘陵最大規模の山城。曲輪や堀切、土塁など山城の特徴的な地形が残っており、ここには兵士が常駐していたと考えられています。

川口城址と板碑



愛犬の犬獅子とともに戦う勇壮な姿が日本武勇談として知られる武将・畑時能が築いた川口城。跡地にある板碑(供養塔)は1368~1374年と推測され、現存する最古のもの。

あわら市指中64字

最古の越前狛犬



あわら市沢 39-1

あわら市指中

細呂木地区には、現存する越前狛犬では最古のものが2対見つかっています。一番古いものは沢地区・春日神社に奉納されているもので「永正12年」の刻印があり、指中地区で発見されたものはその次に古く、あわら市郷土歴史資料館で保管されています。どちらも筋肉の隆々とした様、活き活きとした表情がよく表現されています。

衣かけの大杉

平安時代の頃、春日神社に仕える人々が身を清めるとき、この大杉に衣をかけたといわれています。

春日神社 あわら市沢 39-1



1 蓮如上人の軌跡をたどる



お腰掛けの石
蓮如上人が座って景色を眺めたとされています。
📍吉崎御坊跡
あわら市吉崎2丁目

七不思議の残る御山

通称“御山”と呼ばれ親しまれている千歳山。ここは浄土真宗中興の祖・蓮如が布教活動の拠点を置いた場所です。多くの門徒が訪れ、吉崎御坊と呼ばれるようになりました。御山には本堂跡や蓮如にまつわる伝説が残っており、そのひとつ「お腰掛けの石」は、蓮如が座って景色を眺めたと伝えられており、その温もりが残っているので雪が積もってもすぐ溶けてしまうんだそう。春には桜を愛でる人々ににぎわいます。



一字一石墳

浄土三部経を小石1個に一文字ずつ書いて土中に埋蔵し、その上に石碑を立てた経塚。蓮如道の途中にあります。



御影道中

京都にある本願寺から蓮如上人の御影を吉崎まで徒歩で運ぶ全国でも珍しい行事。約350年前とほぼ同じ道を歩きます。

2 鹿島の森の貴重な自然を観察しよう



かつて、日本の森の大半は鹿島の森のような葉の厚い樹が生い茂る豊かな森でした。今ではこのような森は少なく大変貴重なもの。ここで縄文弥生時代の土器も発見されました。鹿島の森は堆積した土砂でできているため、日本海の荒波によって今でもわずかず地形が変化しています。
📍鹿島の森 石川県加賀市塩屋町



山のカニ

ツメが赤いことからアカテガニと呼ばれています。海で生まれ、大きくなると陸に戻って、水気の多い草むらで生活。夏、森の中で耳を澄ますと、カニが動くカサコソという音が聞こえてきます。

2023年4月
「道の駅 蓮如の里あわら」もオープン!



144年続いた歴史に幕を閉じた吉崎小学校を活用して、2022年4月、子どもが元気いっぱい遊べる施設がオープン。体育館、音楽室、教室、学校中がぜんぶ遊び場!
090-8099-7870 土日祝日10時~15時 開館

3 県境をまたぐ



ひとつの建物に福井県と石川県の2つの住所が混在する珍しい吉崎地区。県境ならではのユニークなイベント「県境綱引き」が毎年10月に開催されており、勝てば陣地が1m増えるんだとか。また、建物横には実際の県境ラインが瓦で敷かれています。
📍越前加賀県境の館
あわら市吉崎2丁目1004-2 TEL.0776-75-1705

北潟湖と大聖寺川が合流し日本海につながる吉崎は海風が混じる、とても気持ちいい場所。ツーリングや自転車で駆け抜けるのもオススメです。

一般社団法人
蓮如の里 吉崎
090-8099-7870



子どもの遊び舎 あそぼっさ

New Spot



2017年に最後の生徒を送り出した教室は今もそのまま。

吉崎 Yoshizaki

～蓮如上人の選んだ土地～



御山から望む鹿島の森

1471年、蓮如上人が北陸での布教活動の拠点として選んだ千歳山。通称「御山」、「吉崎御坊」と呼ばれ、多くの門徒が訪れました。三方を湖と川に囲まれ、万が一のときは舟で越前、加賀、日本海へと逃げやすい地の利がこの地を選んだ理由のひとつとされています。



～豊かな自然を楽しむ～

福井県で3番目に大きい湖を持つ北潟。北潟湖には多くの生き物が暮らし、「日本の重要湿地500」にも指定されています。北潟の森（北潟国有林）では、蓮如の道の一部だった浜街道や、曲がりくねった切通しなども見られるので、当時に思いを馳せながら自然を楽しんでみては。



北潟地区に歴史と美しい自然がたくさん残っているのは、祖先たちがこの地に敬意を払い、愛してきたからだと思います。私たちはそれを受け継ぎ、後世に伝えていく活動をしています！自然豊かな北潟国有林の散策路を分かりやすくご案内します。

あわらの自然を愛する会 河田勝治さん TEL 0776-78-6767（あわら市観光協会）



北潟

Kitagata

安楽寺の守護神・八雲神社

明治以前には「牛頭天王社」と呼ばれていましたが、神仏分離の令により八雲神社に名称変更。しかしながら、北潟地区では“天王さま”と呼んでおり、「天王講祭り」では、神輿を安楽寺にお迎える神仏融合の神事が今も続けられています。



北潟地区のいいところを知ってもらおうと創成会を発足しました。これから、サイクリングロードの整備や看板、マップなどを制作する予定です。お楽しみに！

北潟地区創成会 丸岡栄一さん TEL 090-8265-4796

あわら夢ぐるま公園

Nice View

愛の神とお清水



巨大な風力発電所「あわら夢ぐるま」。全部で10基あり、すべてを一望できるスポットを見つけられたらハッピーになれるというウワサ！また、夢ぐるま公園の展望台からは北潟湖に架かる赤い橋・アイリスブリッジや、四季折々の北潟湖の風景を臨むことができます。

春から秋限定で「夢ぐるま café ふわり」もオープン。パリエーション豊富なソフトクリームが楽しめます。

あわら市北潟 267-237

Pure Water



愛の神とお清水

生命を育む水の恵みに感謝し、永祿8年、愛の神をお祀りしました。愛の神とも言われ、田の神と水の神で夫婦神とされています。昭和23年の福井大地震のときも濁ることなく豊かに湧き出して、多くの人が救われました。

あわら市北潟 36-5
旧 JA 花咲ふく北潟支店跡地そば

八雲神社の湧水



鳥居横に流れる清らかな山水。

北潟の森ウォーキング

Walking

日本海の波風から大地を守る役割を果たしてきた北潟の森には、起伏に富んだ森の道があり、季節ごとの山野草や生き物が見られます。（入林許可申請のため3週間以上前に要問合せ）



波松地区にある白鷺神社近くの浜街道

山野草の宝庫

北潟の森は、一年を通してオウレンやヤブツバキなどの山野草が豊富に自生しています。運が良ければ、それらを目当てにやってくるメジロやシジュウカラなど野鳥の姿も見られるかもしれません。



足元に咲いている小さな山野草



八雲神社の境内にはいくつかの神社が祀られ、本殿には福井県で3番目に古い狛犬が保管されています。



拝殿前にも3対の狛犬。表情、体つき、姿勢がそれぞれ異なり、奉納された時代が違うのでしょう。

安楽寺に安置されている高さ約3mの金剛力士像（尊像・鎌倉時代）。現在の寺の規模からすると大きく感じますが、かつて隆盛をきわめていた頃には約2km離れた八雲神社を奥の院とし、寺崎という地域までが寺の敷地で、当時の山門には阿吽とにも揃った金剛力士像が収まっています。また、北潟地区の半分にわたる水田を保有していたことや26人の僧侶がいたことなどから、大寺院であったことは間違いないようです。

140体以上の狛犬が残る松ヶ崎神社



北潟郵便局では北潟のシンボル・金剛力士像の風景印を押してもらえます。

狛犬と金剛力士像





JRをご利用の場合

「芦原温泉駅」が最寄駅となります。
東京からは北陸新幹線(金沢経由)、または東海道新幹線(米原経由)どちらでもご利用いただけます。

お車をご利用の場合

■東京・大阪・名古屋方面より

「米原JCT」で北陸道に乗り換え、約2時間、「金津IC」で一般道へ

■金沢方面より

「金沢西IC」より約50分、「金津IC」で一般道へ

ガイドのお申込み・お問合せ

あわら温泉街エリア

あわら市観光ガイド協会 0776-78-6767
(一社)あわら市観光協会内)

金津エリア

金津まちなか創成会 090-4689-3212 (清水)

細呂木エリア

細呂木地区創成会 090-4069-0126 (酒井)

吉崎エリア

一般社団法人 蓮如の里 吉崎 090-8099-7870 (末高)

北潟エリア

北潟地区創成会 090-8265-4796 (丸岡)

ガイド詳細は情報は awara.info へ!

